

RYOKO FUKASAWA PIANO RECITAL 深沢亮子ピアノリサイタル

— ブリュッセル弦楽四重奏団と共に —

モーツァルト●ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調
W.A.Mozart : *Quartett für Klavier und Streichtrio Nr.2 Es-Dur K.493*

助川敏弥●松雪草 (2010)
Toshiya Sukegawa : "Primrose" (Pf.)

ブノワ・メルニエ●弦楽四重奏曲「蜂と蘭」
Benoît Mernier : *Quatuor à cordes "La guêpe et l'orchidée"*

モーツァルト●ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調
W.A.Mozart : *Quartett für Klavier und Streichtrio Nr.1 g-moll K.478*

2012年2月23日 木 7時開演 (6時15分開場) 浜離宮朝日ホール
7:00 p.m. Thursday February 23, 2012 at Hamarikyū Asahi Hall

全自由席 ¥5,000

電子チケットびあ | pia.jp/t
0570-02-9999
(Pコード 152-223)

ローソンチケット | 0570-000-403
(Lコード 35450)

CNプレイガイド | www.cnplayguide.com
0570-08-9990

東京文化会館
チケットサービス | 03-5685-0650

マネジメント・お問い合わせ

Shin-En 新演奏家協会
03-3561-5012 www.shin-en.jp



RYOKO FUKASAWA PIANO RECITAL

深沢亮子ピアノリサイタル — ブリュッセル弦楽四重奏団と共に —



深沢亮子 (ピアノ) Ryoko Fukasawa, piano

深沢亮子ホームページ www2.bbweb-arena.com/carillon/

15歳のとき第22回日本音楽コンクール首位受賞。17歳でウィーン国立音楽大学に留学、1959年同校を首席で卒業。翌年、ウィーン楽友協会ブラームス・ザールにて海外デビューリサイタルを開催し、絶賛される。1961年ジュネーブ国際音楽コンクールで最高位入賞（1位なしの2位）。以来ヨーロッパの諸都市や南米、アジアの主要都市でリサイタルや室内楽、オーケストラとの共演等国際的な舞台で活躍。（共演した指揮者はL.v.マタチッチ、G.ヴァント、小澤征爾他。オーケストラはN響、東響、N.Ö.トーンキュンストラ管弦楽団、読売日本交響楽団他。室内楽は新・旧ウィーン八重奏団他）日本の作品も内外に数多く紹介する。また、度々ウィーンのベーターヴェン国際ピアノコンクール、日本音楽コンクール他の審査員を務める。著書、CD多数。毎年リサイタルを開催しているが、特に2003年、2004年にデビュー50周年記念、2009年にはデビュー55周年記念演奏会を開催。2005年、デビュー50周年記念CD（ナミ・レコード）をリリース。2007年と2009年に、恵藤久美子（ヴァイオリン）、安田謙一郎（チェロ）両氏と「深沢亮子と室内楽の仲間たち」I・II（同）をリリース。2011年に、藤井洋子（クラリネット）、生沼晴嗣（ヴィオラ）、アダルベルト・スコッチ（チェロ）諸氏と「楽に寄す～街の歌～」(アート・ユニオン)、中村静香氏（ヴァイオリン、ヴィオラ）と「シューベルトティアデー ふたたび」（同）をリリース。英国ケンブリッジ国際伝記センター（IBC）により「最も優秀な100人の音楽家」に選ばれる。日本音楽舞踊会議代表理事。1963年大阪府民劇場奨励賞。1995年千葉県文化功労者。永井進、G.ヒンターホーファーに師事。

予告

深沢亮子ピアノリサイタル

2012年9月8日(土) 14:00 浜離宮朝日ホール

共演：ウィーン弦楽トリオ

全席自由5,000円

問合：新演奏家協会 03-3561-5012



朝日新聞東京本社

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2

Tel. 03-5541-8710

- 都営大江戸線 築地市場駅A2出口前
- 東京メトロ日比谷線 築地駅1、2出口 徒歩8分
- 都営浅草線・東京メトロ日比谷線 東銀座駅6出口 徒歩7分
- 新橋駅銀座口から都営バス【市①系統】「中央卸売市場行き」
又は「朝日新聞循環」で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」
- 駐車場は近くの首都高速汐留地下駐車場をご利用下さい。（問合 ☎03-3542-0341）

2012年2月23日(木) 7時開演

浜離宮朝日ホール

7:00p.m. Thursday February 23, 2012 at Hamarikyū Asahi Hall

モーツァルト●ピアノ四重奏曲 第2番 変ホ長調

W.A.Mozart: *Quartett für Klavier und Streichtrio Nr.2 Es-Dur K.493* (Pf. Vn. Va. Vc)

助川敏弥●松雪草 (2010)

Toshiya Sukegawa: "Primrose" (Pf.)

ブノワ・メルニエ●弦楽四重奏曲「蜂と蘭」

Benoit Mernier: *Quatuor à cordes "La guêpe et l'orchidée"* (2Vn. Va. Vc)

モーツァルト●ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調

W.A.Mozart: *Quartett für Klavier und Streichtrio Nr.1 g-moll K.478* (Pf. Vn. Va. Vc)

ブリュッセル弦楽四重奏団 The Brussels String Quartet

フィリップ・コッシュ (ヴァイオリン) Philippe Koch, violin

志田とみ子 (ヴァイオリン) Tomiko Shida, violin

トニー・ネイス (ヴィオラ) Tony Nys, viola

リュック・ドゥエーズ (チェロ) Luc Dewez, cello



伝 続あるベルギーの室内楽

団を代表する四重奏団で、近年日本でも注目を浴びている。4人のメンバーの個性や技量を生かしつつ、伸びやかで統一感あるその演奏ぶりは、ここ数年東京公演の度に「音楽の友」、「音楽現代」ほか各誌で好評を博している。フィリップ・コッシュと志田とみ子の二人のヴァイオリニストは、いずれも巨匠アルテュール・グリユミーの高弟。息の合ったアンサンブルは、日本でもファンを増やしている。毎回優れたソリストを迎えての五重奏も話題の一つであり、2000年、2001年、2003年、2006年、2007年、2009年とピアニストの深沢亮子と共演し好評を得ている。四重奏団の第2ヴァイオリンを務める志田とみ子はこの楽団の主宰者で長野県出身。故鈴木鎮一氏の門下で、18歳のときベルギーに渡り、そのまま今日までブリュッセルに住む。巨匠アテュール・グリユミーに就き、1961年ミュンヘン国際音楽コンクール第2位（1位なし）を受賞した。この四重奏団を率いての活動のほかブリュッセル音楽院で教授を務め、国立ブリュッセル歌劇場（王立モネ）においてもヴァイオリン奏者として活躍していたが3年前に退職。現在はもっぱら室内楽の演奏者として活動している。